

地域の話合いを通じた 地区外の担い手米農家への農地集積による荒廃農地の解消

おばまし
〔福井県小浜市〕

新規就農	企業参入	6次産業化	農地中間管理機構
農福連携	鳥獣害対策	地域・集落の共同活動	その他

1. 地域農業の状況

○ 小浜市は、福井県の南西部に位置し、若狭湾に面し、海岸線の一部はリアス式海岸となっている。南は、東西に走る京都北部一帯に連なる山岳で、一部は滋賀県と境を接している。



小浜市

- 金屋地区は、小浜市の東部に位置する遠敷川と山地に挟まれた地域で、農地所有者の高齢化や作物の獣害被害が深刻な地域。
- 農業従事者の高齢化や担い手の減少に加え、米価の下落、農業資材の高騰等が相まって非常に厳しい状況にある。今後も人口減少が進むことが見込まれるため、農業生産基盤の強化を進め、地域の幅広い関係者が協力して農地・農業を守り、発展させていく体制を構築することが重要。
- 一方で、近年、農地の集積・集約化が進展し、大規模農業法人が増加傾向にある中、農業者の経営スキルや生産技術の向上、地域住民の農業離れなどが課題。
- 有害鳥獣対策については、捕獲駆除による個体数調整や侵入防止柵の設置等を進めてきたが、シカ、イノシシ、サル等による農産物への被害は依然として深刻であり、地域農業の維持・発展の上で課題。



地図をもとに話し合い

活用した
支援策

- R2 多面的機能支払交付金（国）
- R2 地域集積協力金（国）

2. 地区概要

取組主体	(株) 百里水郷農園	地区名	金屋 (かなや) 地区
再生面積	2.67ha	取組年次	令和2年～令和3年1月
作付作物	水稻	販路	JA、商店等に出荷

3. 取組内容及び効果

地域の話し合いを通じ、農地の集積を実現

- 令和2年に、金屋地区の農業をどのようにしていくべきか、**農業委員会、金屋区農家組合を中心に話し合い**を実施。話し合いの結果、個人で耕作している現状では、地域の農業を維持できないと判断し、農地中間管理事業を活用して、**集落外の担い手である(株)百里水郷農園に集積・集約する方向で、金屋区農家組合役員が中心となって話を取りまとめ、地権者51名の同意**を得る。
- 金屋区農家組合と(株)百里水郷農園で耕作条件について話し合いを実施。草刈りや水路掃除等、地域の共同活動による担い手のサポートや農地集積協力金の有効活用についても話し合い、合意。
- 地区内の農地**13.87ha(うち荒廃農地2.67ha)**を、**農地中間管理機構を通じて(株)百里水郷農園に集積**。地域内の農地集積率が56%から89.8%に向上。
- 今後は多面的機能支払交付金の活動組織を一般社団法人化し、農地の保全管理だけでなく、農地の利用調整や担い手の農地集積・集約、規模拡大に注力していく。



農地集積前



農地集積後